

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

『赤ちゃんの誕生』を通しての生命の大切さ

舟橋村立舟橋小学校5学年
平成26年12月9日実施

平山先生は、滑川市立東部小学校(平成26年11月28日)、富山市立芝園小学校(平成26年7月18日)、富山市立長岡小学校(平成26年11月20日)においても、いのちの授業をされました。

【いのちの先生】

平山 綾子先生
・助産師

【授業の概要】

- 1 生命の始まりと胎児の成長
(資料：大型絵本)
- 2 赤ちゃんの誕生
(新生児の人形、DVD)
- 3 一人一人がもつすばらしい生命の力

(お母さんへ)

お母さん、私を産んでくれてありがとう。もしお父さんとお母さんが結婚していなかったら、私は産まれていなかったかもしれない。つらい思いまでして産んでくれてありがとう。「いのちの授業」を通してわかったことがありました。それは、私もお母さんのお腹の中で、頑張っていたことです。大人になったら私もお母さんと同じ思いをするかもしれないけど、赤ちゃんにあうためにがんばるからね。

(保護者より)

〇〇が産まれてきたとき、お母さんはたくさん涙がでました。それは大切な宝物が産まれたからです。お父さんもだっこをしてうれしい顔をしていました。その時から〇〇は、お父さんとお母さんの大切な宝物です。大切に大切に〇〇を守っていくよ。〇〇が大人になってもずっとずっと宝物だよ。これからもいろいろなことにチャレンジしてすてきな子になってくださいね。



(保護者より)

「いのち」を大切に学び、大切に生きていってくれたらうれしいです。お母さんのお腹の中で、大事に育て大切に思い産まれてきたことを忘れないください。産まれてきてくれてありがとう。これからも命をずっと大切に思ってくださいね。



(お母さんへ)

ぼくは、命の授業でいのちのすばらしさと大切さを知りました。平山先生から、お腹の中にいたときに、お母さんからたくさん栄養をもらって成長できたことなど、いのちの神秘についてたくさん教えていただきました。お母さんに感謝の気持ちでいっぱいです。今までありがとう。これからもよろしくお祈りします。